

出張講義の ご案内

鶴見大学 文学部

2022年度版



鶴見大学
文学部の「学び」を、
貴校の教室へ
お届けします



日本文学科 英語英米文学科 文化財学科 ドキュメンテーション学科

鶴見大学文学部の出張講義

大学の「学び」を、貴校の教室へお届けします ——

鶴見大学文学部では、各学科の教員が直接高等学校へお伺いして、高校生向けに学問の一端をご紹介します『出張講義』を実施しております。

これから進路を考える高校生の皆様に、本学で提供している「学び」を実際に体験していただくことにより、大学の学問に対する興味をより一層高めていただければと考えております。

貴校の進路・進学指導の一助として、是非ご活用ください。

お申込みから講義実施まで

- ①右頁の「出張講義一覧」をご覧ください、ご希望の講義をお決めください。
◇ご不明な点がございましたら、お申込みいただく前に一度ご相談ください。

②最終頁の「出張講義申込書」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、FAXにてご送信ください。

又は、必要事項を任意の様式にご記載いただいた依頼文書をご郵送ください。

◇任意の様式の場合、次の必要事項をお知らせください。

●ご希望の講義名・教員名 ●ご希望日時 ●ご担当者名・連絡先（所在地及び電話番号）

◇ご希望の講義名及びご希望日時は、第3希望までご提示願います。

◇ご希望日の1か月前までにお申込みをお願いいたします。ただし、ご希望日が直近の場合でも、可能な限り調整させていただきますので、まずは一度ご相談ください。

③派遣する教員を調整し、折り返し本学よりご連絡いたします。

◇お申込みからご連絡まで、1週間前後のお時間をいただくことをご承知置きください。

◇授業・会議等の都合により、ご希望に沿えない場合がございますので、予めご了承ください。

◇教員から使用機材等の要望があった場合は、別途ご相談させていただきます。

④お約束の日時に教員を派遣いたします。

◇当日は教員が直接ご担当者様宛にお伺いいたします。（当日、確認のご連絡等は割愛いたします。）

◇交通費・謝金等は必要ございません。

ご留意事項

○本学の宣伝が主目的とならないようにいたしますが、本学における事例を一例としてご紹介することや、本学の案内パンフレット等を資料として配付することにつきましては、予めご理解をお願いいたします。（事前の資料送付にもご協力をお願いいたします。）

○往復に半日以上要するご依頼は、お受けいたしかねる場合がございますのでご了承ください。

○当日の天災・交通事情等により、やむを得ず派遣日時を変更又は取止める場合がございます。

○今後の社会情勢により、講義方法等をご相談させていただくこともございますので、お含みおきくださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2022年度 出張講義一覧

学科名	講義タイトル	職名	担当教員
日本文学科	①恋の万葉歌	教授	新沢典子
	古典文学の魅力のひとつは、それを介して昔の人の心と容易に繋がれる点にあります。1000年以上前の恋の歌を通して昔の人の心の世界にリンクしてみましょう。		
	②「古文」ができるまで	准教授	田口暢之
	古典文学は写本や版本の形で伝わりましたが、その本文がそのまま教科書に載っているわけではありません。教科書の「古文」はどのように作られたのか、『竹取物語』を例に、本文校訂の方法などについて講義します。		
	③和歌ってなに？	教授	中川博夫
	万葉集や古今和歌集あるいは百人一首などで見たことがある和歌というのは、そもそもどのような表現なのか、普段私たちが使っている日本語とはどのように同じで、どのように違うのかを、分かりやすくお話しします。		
	④江戸の絵と物語	准教授	神林尚子
	江戸時代には、絵入りの本が数多く刊行されています。挿絵は単なる添え物ではなく、本文と相補って一つの作品を作り上げています。機知と笑いを織り交ぜた絵入り小説を中心に、挿絵と本文の交響を見てみましょう。		
	⑤近代小説の冒頭を読む	教授	片山倫太郎
英語英米文学科	小説作品の書き出しには、作家のいろいろな工夫を見いだすことができます。小説家の苦心の跡を読み取ることを通して、小説とはどのように書かれているのか、また、小説を読むためのコツの一端をお話しします。		
	⑥平安時代の仮名	准教授	山本まり子
	我が国の文字の歴史において仮名の誕生は画期的であったといえます。仮名文字完成期の書風、その後流行した書風について概観し、仮名文字だからこそ成し得た文学的表現に注目して和歌の判読と一緒に進めてみましょう。		
	⑦中国人の小説観と「志怪小説」	准教授	表野和江
	中国では小説は長らく「タブー」でした。この講義では、六朝時代に出現した「志怪小説」を、江戸時代に出版された「和刻本」を使って読み解き、中国人の小説観を体験します。		
	⑧「活用表」の成り立ちと仕組み	講師	遠藤佳那子
	いま皆さんが学んでいる古典文法の原型は、江戸時代の国学者によって形作られました。彼らの研究は多岐にわたりますが、中でも「活用表」がどのように設計されたのか、その成り立ちと仕組みを紐解きます。		
	①Understanding English Intonation —英語のイントネーションをジャズ・チャンツで練習	准教授	ケビン・ミラー
	The teacher will explain English intonation in English and Japanese followed by jazz chants practice.		
英語英米文学科	②Extending Conversation in English —英語から英会話へ	教授	マーティン・コネリー
	Students will learn how to ask follow-up questions and to show interest, for natural-sounding and enjoyable English conversation.		
	③英語で五行詩を書いてみよう	教授	草薙優加
	英語で詩を書いたことはありますか。詩と聞くと難しそうに聞こえるかもしれませんが、身近な題材と語彙を使って、絵を添えた五行詩をつくってみましょう。		
	④英語で何かを頼みたいときの丁寧表現について考えよう	教授	松山明子
	楽しくおしゃべりするだけが実践的なコミュニケーションではありません。他の人に働きかけて何かをしてもらいたいとき、どのような表現が役に立つか、英語で何かを頼む場合の丁寧な表現について考えましょう。		
	⑤英語の歴史から読み解く英文法	准教授	宮下治政
	英語の奇妙な現象、例えば動詞の不規則変化や名詞の不規則複数形、否定文や疑問文に突然現れる助動詞のdo等は、英語という言語の歴史をたどっていくと、なぜそうなっているのかという理由が分かってきます。		
	⑥英語の先生になるには	教授	根岸純子
英語英米文学科	英語が好きで、将来の夢は「英語の先生」になることだと考えている人向けの講義です。大学で何を学ぶのか、どんな努力が必要なのか、英語力はどの程度必要なのか、話を聞いてみませんか。		
	⑦海外留学のススメ	准教授	菅野素子
	海外留学はこれからの日本人に必須の経験で、英語を流暢に話せるようになりたい人だけがするものではありません。長期留学を担当してきた経験から、学生たちがどう成長したかをお話しします。		
	⑧ハリー・ポッターから知る英語・文化・文学	講師	渡辺一美
	英語英米文学系統の学科ではどのようなことを学ぶのでしょうか。授業では、「ハリー・ポッター」シリーズを使い、アメリカとイギリスの言語と文化について知ることで、文学作品がより深く理解できる例を紹介します。		
	⑨The Great Gatsbyの書き出しを英語で味わう	教授	深谷素子
	アメリカ文学の最高傑作『グレート・ギャツビー』の書き出しを英語で読み、小説の書き出しからどんなことがわかるか推理してみましょう。		

英語 英米文学 学科	⑩子供向きファンタジーのような『星の王子さま』という日本語タイトルで良いのか？	教授	加川順治
	原題直訳は「小さな君主」。象徴的に描かれる地上・社会の寒々しい非人間的現実と、その中で力・“王”を求めず、各人が慈愛・高貴の“君主”を目指すべきという思想。作品にきちんと向き合うことの大事さを伝えます。		
	⑪『ハイジ』から学ぶ近代ヨーロッパ	講師	柊香央里
	アニメ『アルプスの少女ハイジ』の原作、シュペーリの『ハイジ』を読んだことはありますか。授業ではアニメと原作の相違点を紹介しつつ、アルプスの物語に秘められた宗教的道德と近代ヨーロッパの真相に迫ります。スイスのイメージも一変するでしょう。		
	⑫アメリカの身体文化から現代を考える	准教授	鈴木周太郎
	私たちの身体はどのように語られ、認識されてきたのでしょうか。ファッション、スポーツ、人種言説、医療・衛生といったテーマについて、アメリカ合衆国を中心に歴史の大きな流れと関連づけつつ考えます。		

学科名	講義タイトル	職名	担当教員
文化財学 学科	①ペリー来航直前の日本とオランダの関係	准教授	西澤美穂子
	江戸時代の間、ヨーロッパで唯一日本と付き合いのあったオランダは、ペリーの日本派遣情報を受けて、どのように考えたのでしょうか。日蘭関係から、日本の近代化への第一歩を見ていこうと思います。		
	②鎌倉大仏の謎	教授	緒方啓介
	古都鎌倉のシンボルである鎌倉大仏の造立の経緯、構造、作者などに関連する幾つかの謎について歴史的背景を踏まえつつ解り易く解説し、高校生に美術史についての興味を深めることを目的とします。		
	③沈没船から発見された30万点のベトナム陶磁の謎	教授	矢島律子
	ベトナムの港町の沖合で1隻の古い大型沈没船が引き上げられ、船底から30万点ものベトナム製陶磁器が発見されました。誰がどこへ運び、誰に売ろうとしていたのでしょうか。中世アジアの海上交易の歴史に迫ります。		
	④室町・戦国時代の村の紛争	准教授	近藤祐介
	絶え間ない戦乱の時代において、村に住む人びとや村同士にどのような紛争があり、それをどのように解決したのでしょうか。史料を読みながら中世に生きる人びとの日常を覗いてみたいと思います。		
	⑤中世都市鎌倉の考古学	教授	宗基秀明
	中世都市鎌倉の政治・経済と庶民生活を考古学の成果から多くの写真資料を示しながら探ります。とくに、陶磁器や工芸品など都市を支えた交易や物流の側面に焦点をあてて、中世都市の実像に迫ります。		
	⑥考古学から見たスペイン植民地時代のフィリピン	准教授	田中和彦
	スペイン植民地時代のフィリピンは、中国と新大陸を結ぶ太平洋横断貿易の中継地でありました。近年の考古学的調査により、中国陶磁器の他、肥前磁器や日本刀なども出土しています。本講義では、その実態に迫ります。		
	⑦文化財科学をご存知ですか？	教授	星野玲子
	遺跡・石造品・木製品・金属製品・絵画・書物・工芸品など、様々な文化財の分析、劣化の調査、修理、後世に伝えるための保存などがあります。これら文化財科学について、ご紹介します。		
	⑧宗教を知ろう	准教授	鈴木一馨
	私たちの普段の生活の中で、「宗教」はあまり関わりのないもののように思えますが、実のところ日常生活は宗教に満ち溢れているといえます。そこで本講義では身近に潜む宗教についてお話しします。		
	⑨日本語の文字のはなし	教授	小林恭治
	私たちは、漢字、平仮名、片仮名、ローマ字を自在に使用していますが、それは、世界の言語から見ると、決して当たり前のことではありません。そこで、日本語の文字について、もう一度見直してみようというお話です。		

学科名	講義タイトル	職名	担当教員
ドキュメンテーション 学科	①新しい本と電子資料の世界　ーgooglingの先へー	教授	大矢一志
	印刷本の文化が確立するまでにおよそ50年、社会を変えてゆくまでには100年かかりました。いま電子資料が同じように文化と社会を変えていこうとしています。現在考えられる本と電子資料の将来像を紹介します。		
	②論理学への入門	教授	田辺良則
	論理パズルを題材にして、情報学や数学と深い関係にある「論理学」への入門をお話しします。詳細は https://bit.ly/3uxTk1H をご覧ください。		
	③スマホの便利で危険な話　～勝手に情報発信!?～	教授	元本章博
	位置情報って知ってますか？スマホで撮った写真には位置情報を埋め込めますが、そのままアップしてしまうと…		
	④図書の分類法	教授	角田裕之
	図書館に排架されている図書は、知識を体系化した分類法に従って並べられています。分類は数字を記号として表現し、数字順に排列すると類似した主題が集まります。講義では日本十進分類法を用いて図書を分類します。		
	⑤学校図書館を使いこなそう!	教授	河西由美子
	あなたの学校の図書館(図書室)、充分使いこなせていますか?学校図書館を会場に、学校図書館を高校生活に役立てるいろいろな活動を紹介したり、図書館の使い方や本の選び方などをアドバイスします。		
	⑥江戸時代の本に触れてみよう・読んでみよう	教授	伊倉史人
	私たちの先人は古来読書を好み、数多くの本を書写、刊行してきました。今に残される江戸時代以前の本は100万点を超えると言われていいます。そうした本を実際に手に取ってその特徴を学んだり、くずし字で書かれた文章を読んだりしましょう。		
	⑦まちの図書館を知ろう!	講師	小南理恵
公共図書館、学校図書館、大学図書館など、図書館には種類があります。この授業では、日本やアメリカの公共図書館の特徴あるサービスを紹介します。まちの図書館を知ることで、まちの特徴が見えてきます。			

出張講義申込書

以下にご記入いただき、FAX にてご送信ください。（この頁を適宜コピーしてご利用ください。）

年 月 日

貴校名：			
所在地：			
ご担当者名： (役職：)		TEL：	- -
		FAX：	- -
ご希望日時	第1希望 月 日 () 時 分 ~ 時 分	第2希望 月 日 () 時 分 ~ 時 分	第3希望 月 日 () 時 分 ~ 時 分
ご希望の講義名・教員：			
第1希望 講義名		教員	
第2希望 講義名		教員	
第3希望 講義名		教員	
聴講予定の学年・人数：		年生(約 名)	貴校教職員の同席： あり ・ なし
日時と講義のご希望について： 希望の日時を優先する ・ 希望の講義内容を優先する			
その他、ご要望等（ある場合は具体的にご記入ください。）			

鶴見大学
入試センター宛

FAX 045-580-8299



お問合せ先

鶴見大学 入試センター

〒230-8501 神奈川県横浜市鶴見区鶴見2-1-3

TEL 045-580-8219・8220(直通)

FAX 045-580-8299

URL <https://www.tsurumi-u.ac.jp>

ホーム→「大学学部・短大部」→「文学部」→(各学科を選択)→「担当教員一覧」より、本学教員の研究業績がご覧いただけます。

